

## 長岡税務署長賞

### 「大人になっても」

長岡市立南中学校

二年 内藤 理緒

私は、学校の授業で税に関する学習をしたことで、大切なことを改めて確認することができました。それは、あたりまえに思っている生活は、この国にいる全ての人が税金を払っているから成り立っているものだ、ということなのです。

毎日歩いている道路。勉強に欠かせない教科書。小さい頃、たくさん遊んだ公園。これらは全て税金によって賄われていくものでした。この三つは、税金が使われているものの中でも、特に身近だと感じました。

いつも使っている教科書の裏表紙には、「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」と書いてありました。今この教科書のおかげで、私はたくさんさんの学びを得ることができています。どの高校に行こう、将来どんな職業になろう、と未来を自由に思い描くことができています。

そして私も、税金を払っています。それは、消費税です。来年の十月には、今より二パーセント増えて十パーセントになるそうです。このことを知ったとき私は、高いな：と思います。

ました。しかし、授業で税金の使い道と支収のバランスを知り、「決して無駄使いされていないわけではない。払っているから今のような生活がある。」ということに気付くことができた。

大人になれば、私も働いたり、一人暮らしをしたりすると思います。その時は、所得税や住民税など新たな税金を払わなければなりません。今は消費税しか払っていませんが、そうなれば税金を払うのが嫌になることがあると思います。でも、払った分はいつか自分にとって欠かせないものとなって返ってくることを、私はもう知っています。それに、税金は誰もが平等に払っているものです。だからこそ、自分だけ払いたくないから払わないということはず、大人になってもしっかりと税金を払っていききたいです。そして、それによって作られたものを大切にしていききたいと思います。

最近通った道路の白線がきれいにぬり直されているのを見かけました。前まで消えかかっていた見づらかったので、きれいになってよかった、と思いました。このようなことは前まで気にとめていませんでしたが、税について少し学んだ今、税のおかげで工事をすることができたんだと、税の大切さを実感することができました。